

日本と同じく長寿化が進むアジアにあなたの知見を紹介しませんか？

# アジア健康長寿 イノベーション賞 2024

HEALTHY AGING PRIZE *for Asian* INNOVATION

日本は世界的な長寿大国として知られていますが、他のアジア諸国もこれまでにない速さで長寿化が進んでいます。この流れの中で、誰もが健康で活動的な高齢期を過ごすことができるように、早い段階から社会の制度や人々の意識を変えていくことは、各国共通の課題となっています。

「アジア健康長寿イノベーション賞」(HAPI: Healthy Aging Prize for Asian Innovation) は、高齢化による様々な課題のソリューションとなる革新的な取り組み事例をアジア各国から募集・表彰する国際賞です。

応募受付期間

2024年**2月28日**～**5月31日**



**応募方法** 応募申請書のダウンロード・メール添付で提出

ステップ1 ウェブサイト [www.ahwin.org/award/award-japan](http://www.ahwin.org/award/award-japan) にアクセスし、専用ページから申請書をダウンロード

ステップ2 応募する事例について、申請書を作成

ステップ3 作成した申請書を添付し Email にて提出

**送付先** [hapi@jcie.org](mailto:hapi@jcie.org)

※ 事務局に申請書を送付する際は、件名を「**応募書類送付**」と記載してください。

詳細はこちら **英語**：[www.ahwin.org/award](http://www.ahwin.org/award) | **日本語**：[www.ahwin.org/award/award-japan](http://www.ahwin.org/award/award-japan)



# HEALTHY AGING PRIZE for Asian INNOVATION

## 賞の対象

本賞では高齢化に関連する課題解決に取り組む政策、プログラム、サービス、製品を対象とします。なお、審査にあたっては、下記の3分野から受賞者を選出しますが、これら3分野以外でも優秀な事例がある場合は、特別賞を授与いたします。大賞にはトロフィーと賞状が授与され、海外受賞者を招いての訪日スタディツアーへご招待します（一団体につき一名）。また、事例の詳細を紹介した英文記事をAHWINウェブサイトに掲載し、国際的に発信いたします。

### テクノロジー&イノベーション

革新的な技術や手法、発想等により、安全で効率的に高齢者の自立を促している事例、あるいはそれにより介護者の身体的・精神的・時間的な負担軽減につながる事例

### コミュニティ

高齢者を地域で支える取り組みや世代間交流の機会を通して、その地域に住む高齢者の健康、活動的な社会参画、安全な暮らしの維持に貢献している事例

### 自立支援

高齢者が日常生活動作（ADL）を維持しながら、住み慣れた地域で生活し続けられるよう心身機能を維持・向上、あるいは回復させることを目的とする事例



### 日本からの応募要件

- 日本国内に活動拠点のある団体（ただし、官公庁、国際機関からの応募は受けません）
- 日本国内における事例であること（本賞では、日本のほか、アセアン加盟国、韓国、中国（香港・マカオ・台湾を含む）からも募集します。日本の組織で、これら地域での事例を応募したい方は、AHWINウェブサイトの海外事例応募ページ：<https://www.ahwin.org/award/> からご応募ください。）
- 海外に知見を共有する意思があり、海外からの問い合わせに対して可能な範囲で対応いただけること。
- 一次審査後に事務局によるインタビューの受け入れが可能であること。
- 応募組織またはその役員に重大な法令違反の経歴がないこと。
- 公序良俗に反する、あるいは社会通念上ふさわしくないと判断される問題がないこと。
- 既に活用されている段階にあること。活用されていない計画段階の事例は審査対象外。
- 応募者は、当該事例の発案・開発者であること。他組織が開発したプログラム・モデルを導入している、または、他団体が開発した商品のマーケティングを担っている組織からの応募は審査対象外。

### 選考基準

- 以下の8項目の内、必須項目を含む4項目以上に合致しなければならない。
- 高齢者の健康長寿達成、高齢者ケアの向上に焦点を当てた取り組みで、一定の成果を上げている、あるいはそれが見込まれること（必須）
  - 従来と異なる新たな切り口・捉え方により、高齢化に関連する課題解決に取り組んでいること、またはそれを可能にする政策、プログラム、サービス、製品であること（必須）
  - アジアにおいて実践が可能、あるいは将来的な実践に向けて参考になること
  - 何らかの費用対効果が見込まれること
  - 人材の育成や活用に寄与することが見込まれること
  - 包摂的かつ公平であり、誰もが利用できること
  - 同じ取り組みが他地域でも実施できるよう、マニュアル等が整備されていること
  - 科学的な裏づけがある取り組みであること

本事業は、日本政府による「アジア健康構想」(Asia Health and Wellbeing Initiative: AHWIN)の一環として、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)および日本国際交流センター(JCIE)の主催で実施いたします。

